

岐阜市 洪水ハザードマップ (長良川) 南部版

平成31年3月作成

災害時の我が家ルール

わが家の避難場所 (家族で話し合って避難する場所を決めておきましょう。)

施設名	備考
私の地域で優先して開設される避難場所は	水害のおそれのある場合は、各地域の拠点となる地区公民館又は小学校を優先して開放します。公民館又は小学校の名称を記載ください。
上記の他に近隣の高い建物は	です。
◆わが家の避難時のルール	
わが家では	ときに へ避難します。

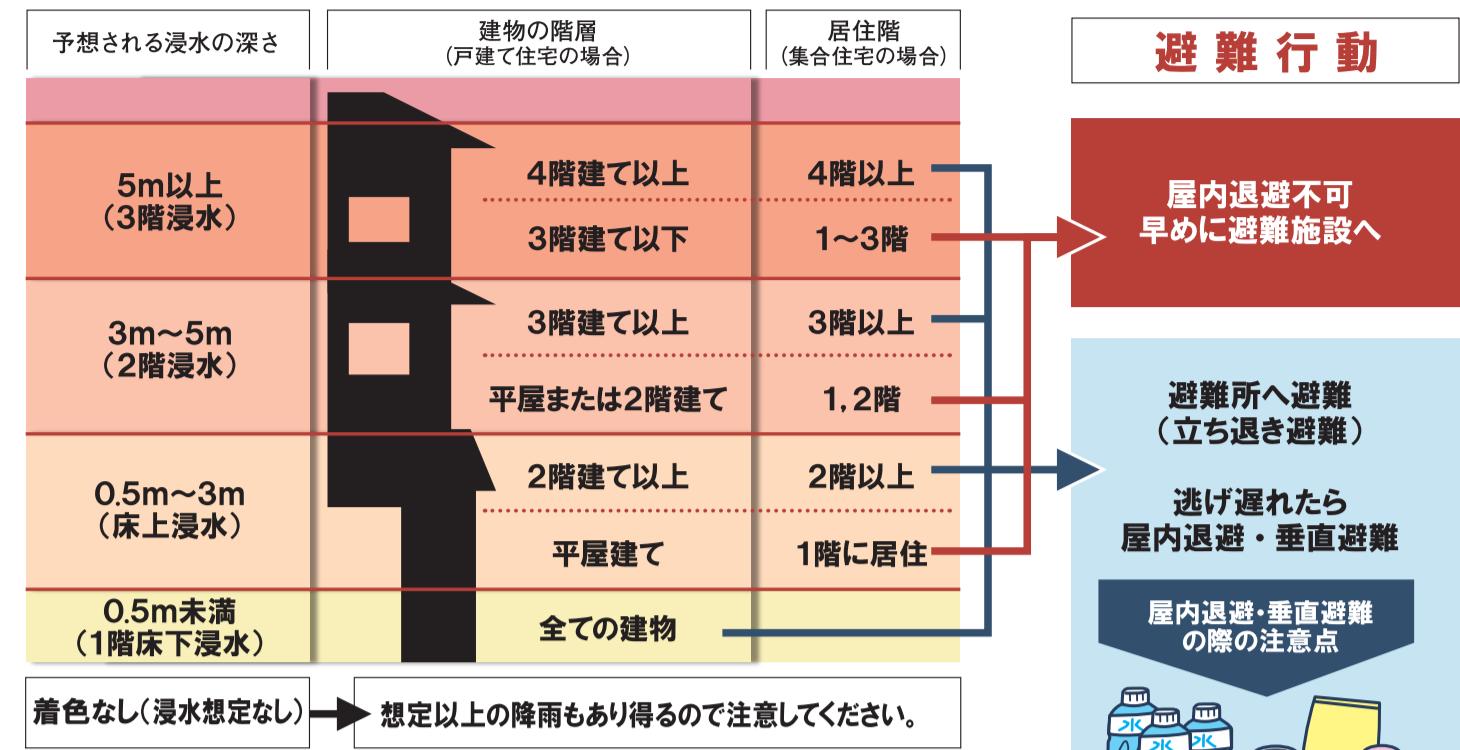
例: 避難勧告が発令された
例: ○○公民館
避難場所までの避難経路を裏面のマップに書き込んでおきましょう。

あなたに必要な避難行動は?

建物の浸水想定深は

予想される浸水の深さ、お住まいの建物の高さによって、必要な避難行動に違いがあります。

自分に必要な避難行動を知っておきましょう。



避難行動のポイント

危険が近づいたらすぐに安全な避難所等に避難することが大切です(水平避難)。しかし、避難している最中に被害にあう可能性もあります。

下記の項目についても当たる場合は無理に外に出ず、少しでも高いところに避難し、命を守る最低限の行動をとりましょう(垂直避難)。

- ① 立ち退き避難
- ② 避難場所へ避難所への移動
- ③ 避難場所以外の安全な場所(親戚や友人の家等)への移動
- ④ 近隣の高い建物、強度の強い建物等への移動
- ⑤ 建物内より安全な場所(高い場所など)への移動とその場所での待機

立ち退き避難前に、以下の項目をチェックしてみましょう。

- 夜間で避難路の危険個所がわかりにくい。
- 避難路に崩れそうな斜面がある。
- 避難所までにひざ上り(50cm以上)に浸水している場合通らなければいけない。
- 浸水は浅い(20cm程度)が、水の流れがやい。
- 避難路に蓋のない用水路があり、位置がわからない。

自宅外避難の心得

1 非常持ち出し品を準備しておきましょう

避難所の備蓄品には限りがあり、高齢者や身体の不自由な人、乳幼児などへ優先的に配布されますので、自分が十分な準備をすることが大切です。非常持ち出し袋には、両手の空くりリュックサックが便利です。重すぎないかどうか、いちど背負ってみてましょう。

■あまり重いと避難行動に支障があるので、重すぎる場合は減らしましょう。

■水を注ぐだけで簡単にできる、比較的軽い乾燥食品などを用意しましょう。

■各自に1つのリュックを用意し、それぞれ持ち出いややすい場所に分散して保管しましょう。

（男性15kg
女性10kg
程度が重さの目安です）



2 避難先・避難ルートを確認しておきましょう

浸水に対して安全な避難先と避難ルートを、平時から家族や地域で確認しておきましょう。避難先は必ずしも市が準備した避難所である必要はありません。親戚宅、知人宅、職場なども避難先の選択肢になります。

3 避難の方法を確認しておきましょう

自家用車での避難は緊急自動車の通行を妨げるのも、交通渋滞を巻き起こすものでやめましょう。どうしても自家用車での避難をしたい場合は、さらに早めの避難開始が重要です。

（長い棒や裸足は禁止です。運動靴をはきましょう。）

（歩ける深さの目安は男性で70cm、女性で50cmまでです。それ以上は救助を待ちましょう。）

（※水深が深い場所でも流れが速い場合は、非常に危険です。）

（台風などによる日曜日～日曜程度の避難の場合）

4 早めの避難を心がけましょう

浸水からの自宅外避難は危険です。市は降雨や河川水位などの情報をもとに避難勧告等の発令により避難を呼びかけますが、身の危険を感じたら自主的に避難を開始してください。避難する際には、避難所が開設されているかを確認してから避難しましょう。

（高齢者や身体の不自由な人などは背負って避難しましょう。）

（水分は多めに用意しておきましょう。）

（台風などによる日曜日～日曜程度の避難の場合）

5 ご近所に声をかけましょう

単独での避難は、思わず事態にあったと感じたときに危険です。避難する前に隣近所に声をかけ、身の危険を感じたら自主的に避難を開始してください。避難する際には、避難所が開設されているかを確認してから避難しましょう。

（高齢の方をお持ちの方は、お薬を忘れずに！）

6 やむなく浸水の中を歩かなければならないときの注意

長靴や裸足は禁止です。運動靴をはきましょう。

（歩ける深さの目安は男性で70cm、女性で50cmまでです。それ以上は救助を待ちましょう。）

（はぐれないようにお互いの身体をロープで結んで避難しましょう。）

（幼児は浮き袋やベビーバスなどが便利です。）

（はん水による水は汚水が混ざっているので、むやみにさわらないようしましょう。）

7 市指定の避難所での注意

水害時に開設される市指定の避難所では、不特定多数の人々が一定期間滞在することになります。大声を出したり騒いだり他人が不便に感じるような言動は控えましょう。

ペットと同行避難する場合には、ケージなど必要な資材やペットトートはできる限り持参しましょう。また、避難所では他の避難者の迷惑となるような自己のペットの管理をしましょう。

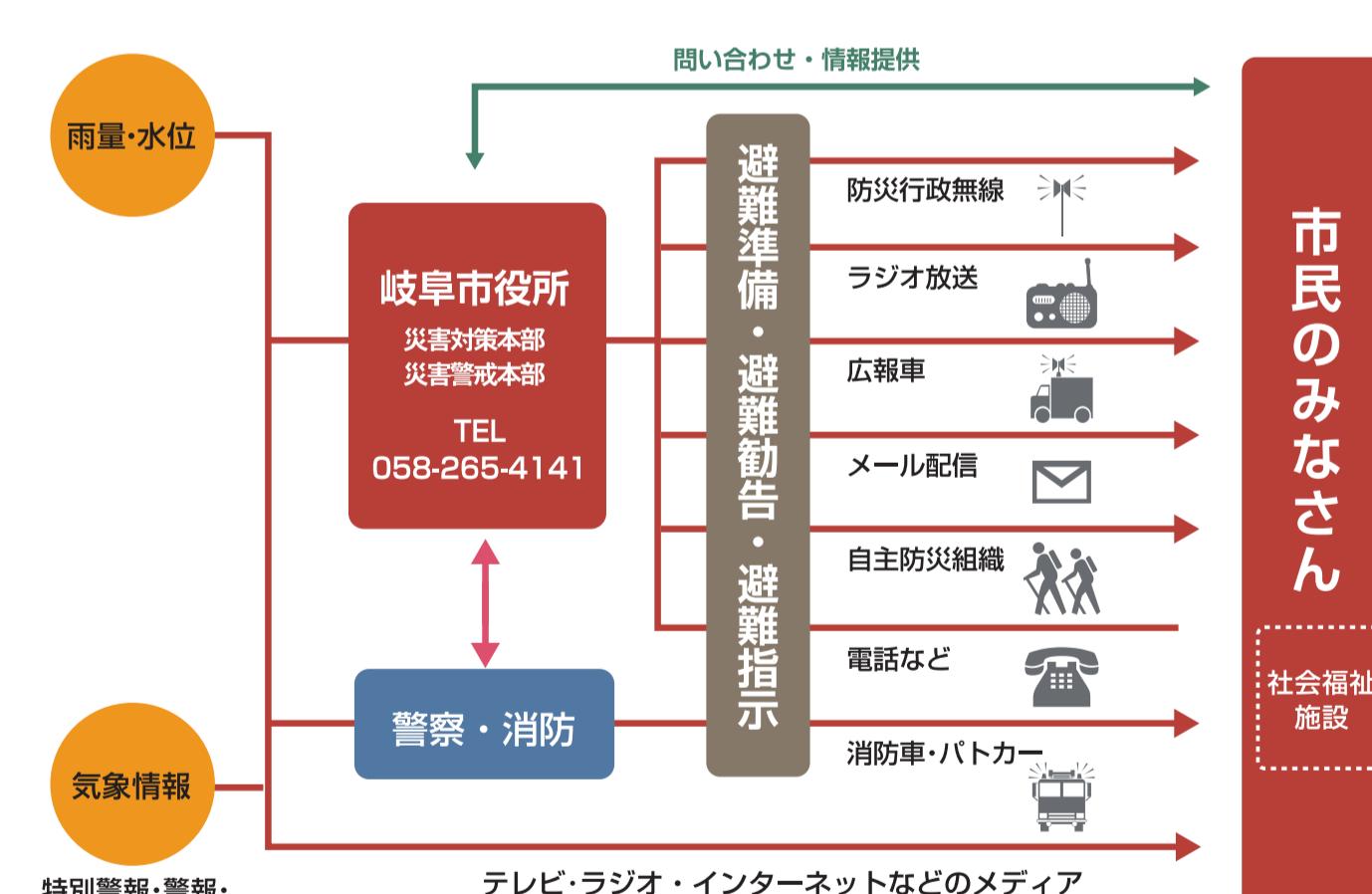
8 地域の協力を

高齢者や身体の不自由な人など、避難に時間を使う人については、避難準備・高齢者等避難開始などを参考にして早く避難するよう心がけましょう。

普段から地域で情報を交換し、いざというときには協力合い、豪雨災害による犠牲を防ぎましょう。

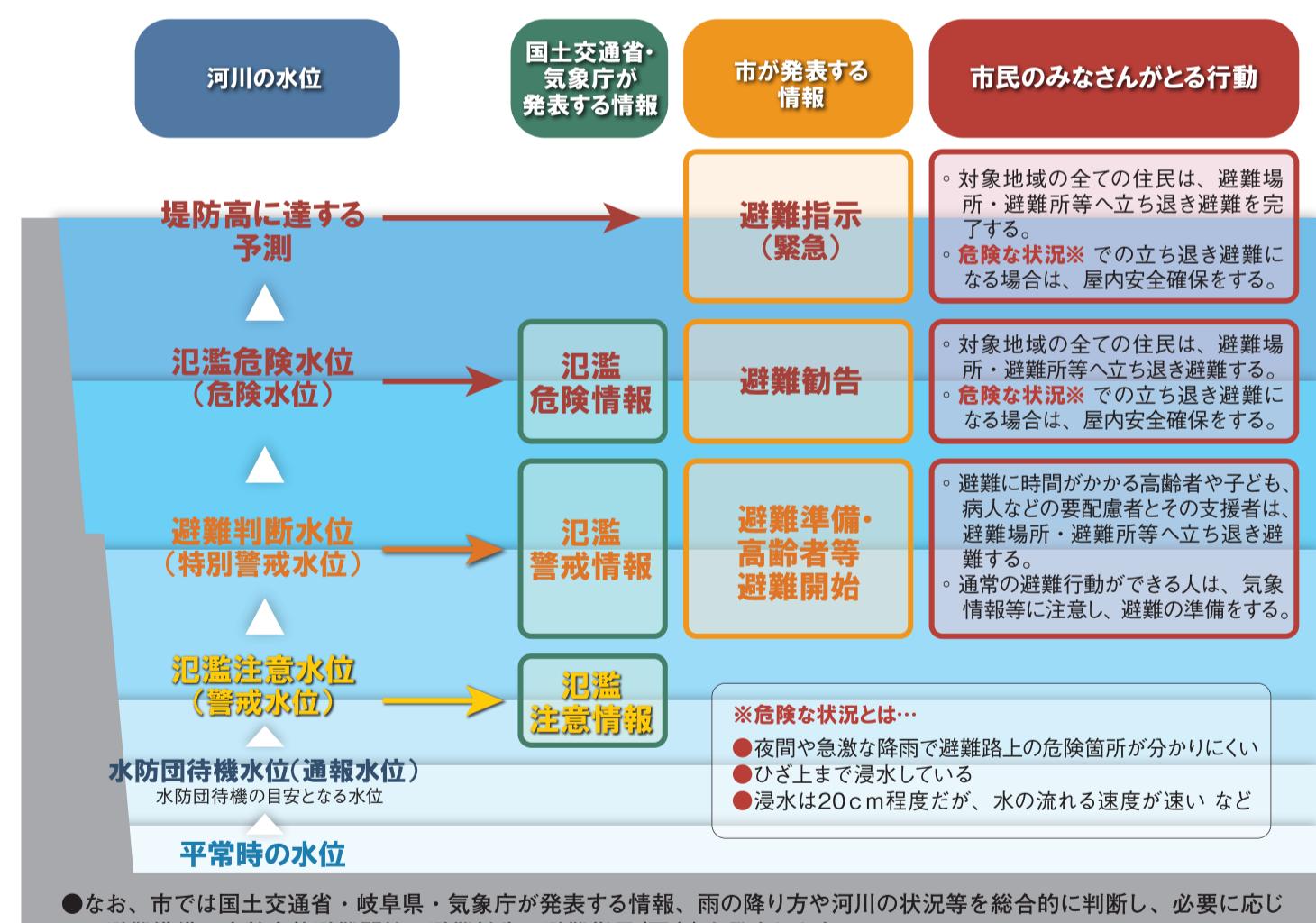
情報の入手方法

岐阜市の災害時の情報伝達



避難の準備

避難情報と行動の種類



気象予警報・河川状況などの情報



想定最大規模の洪水を対象としたハザードマップ

